

平成26年度第18回県政参画電子アンケート
「鳥取県立博物館の今後の施設整備のあり方に関するアンケート」調査結果

1 調査概要

- ・テーマ : 「鳥取県立博物館の今後の施設整備のあり方に関するアンケート」調査結果
- ・期間 : 平成27年2月10日 ~ 平成27年2月25日
- ・対象 : 県政参画電子アンケート会員
- ・回答 : 401名/485名 (82, 7%) (※回答者数は重複回答者除く)

2 アンケートの調査目的

県立博物館は、3つの分野（美術、自然、歴史・民俗）にわたる総合博物館として昭和47年に開館して以来40年以上を経過し、建物・設備の老朽化が進んで、収蔵庫や駐車場が全く足りないなど深刻な問題を抱えています。

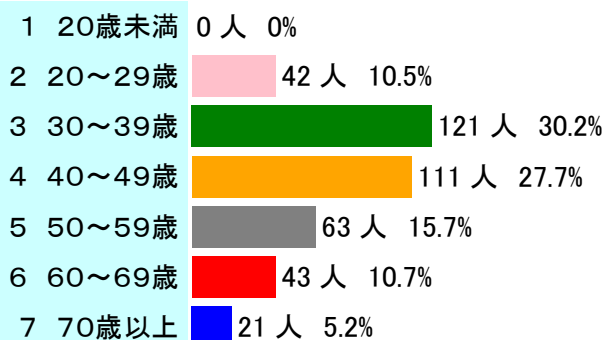
そこで、博物館の在り方を検討されている有識者（博物館現状・課題検討委員）からは、現在の施設は、史跡（鳥取城跡）の中にあるので増築や拡張はできないけれど、改修すれば使い続けることができるので、新たな施設を他所に整備する場合でも、そこに移転するのは現在ある3分野のうちどれか1分野にして、残る2分野については現在の施設を改修して活用するのを基本に考えてみてはどうかとの意見をいただきました。

これについて皆さんの意見をお聞きし、今後整備を進めていく上での参考にしたいので御協力をお願いします。

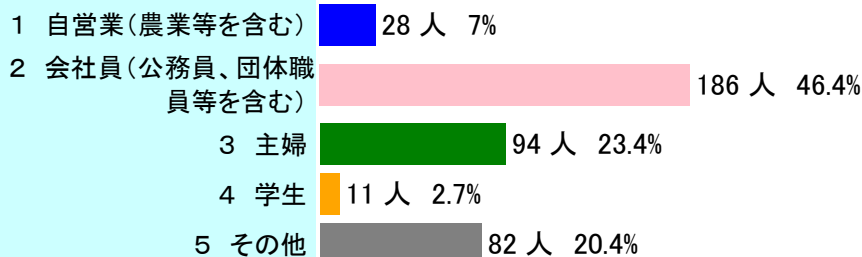
(問1)あなたの性別をお答えください。



(問2)あなたの年齢をお答えください。



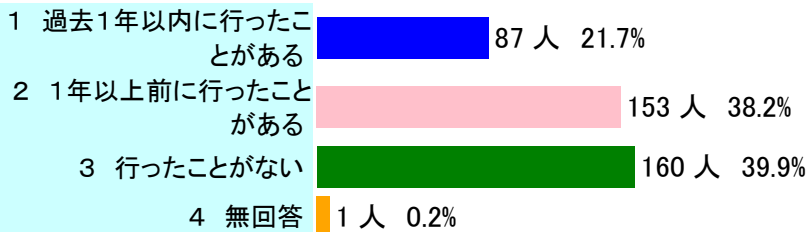
(問3)あなたの職業をお答えください。



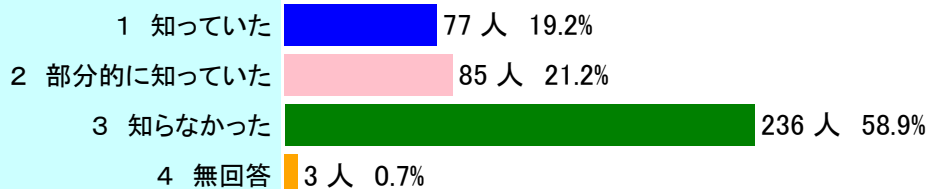
(問4)あなたのお住まいの市町村をお答えください。



(問5)あなたは、鳥取県立博物館に行ったことがありますか。



(問6)あなたは県立博物館が前述のような問題を抱えていることを知っていましたか。



(問7) 県立博物館について新たな施設を整備する場合、どのようにするのが良いと思いますか。

